

## 七飯町産業振興促進計画

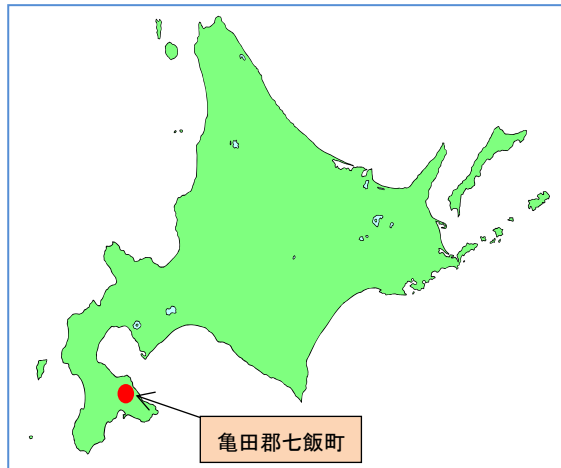
令和2年3月11日  
北海道亀田郡七飯町

### 1. 計画策定の趣旨

#### ◆七飯町の概況

##### 【位置・地勢】

七飯町は、北海道渡島半島の南部に位置し、北海道表玄関である函館市から北西に約16kmの距離にあり216.75km<sup>2</sup>(平成26年10月1日基準国土院測定公表値)の面積を有する町です。北方は宿野辺川を境に森町に、東北は雨鱒川を境に鹿部町に、東南は横津岳の山頂より蒜沢川を境に函館市に、南西側は北斗市にそれぞれ接していません。



また、七飯町は大沼トンネルを境に北部と南部に別れ、北部の大沼地区には活火山である秀峰駒ヶ岳(標高1,131m)、また平成24年7月3日にラムサール条約登録湿地に指定された大沼・小沼・じゅんさい沼を擁する大沼国定公園があり、公園入口は市街地が形成されており、それに接する平坦地は水田、山麓一帯には酪農・畑作地帯が広がっています。南部は、ほぼ中央を国道5号が縦断しており、国道沿線は市街地として開発が進んでいますが、西側の平野部は水田、東側の丘陵部には畑作・果樹地帯として一次産業を守っています。

##### 【気候】

七飯町は、北海道の南西部に位置し降水量は少なく道内では最も温暖な気候に恵まれ、四季の区別がはっきり感じられる良好な自然環境を有しています。

##### 【総人口】

七飯町の総人口は、下記の表のとおりとなっており、平成7年は27,040人でしたが、平成12年に急増し、平成27年度は微減となっているもの、ここ数年では安定して推移し、平成27年では28,120人となっています。

##### 【人口動態】

人口動態で見ると自然動態では、平成26年から平成30年まで出生平均数は169人、死亡平均数が364人となっており、毎年死亡数が出生数を上回る状況となっております。

また、社会動態では、近年、転入が転出を上回る増加傾向が続いておりましたが、平成30年3月末には、転入1,038人、転出1,154人と116人の社会減になっています。

##### 【年齢別人口構成比】

平成17年以降は生産年齢人口(15~64歳)が減少し、老年人口(65歳以上)の増加傾向が続く、年少人口(0~14歳)においても減少傾向となり、少子高齢化が進んでいます。

### 【高齢者人口】

高齢者人口（老人人口）は一貫して増加しており、前期高齢者（65～74歳）の割合は平成2年の9.5%から平成22年の13.1%に増加しました。一方、後期高齢者（75歳以上）の割合は、平成2年の5.5%から平成22年では14.8%とおおよそ3倍近くに増加し、前期高齢者の割合を超えています。

### ◆本計画作成の根拠

平成27年施行の改正半島振興法（昭和60年法律第63号）第9条の2第1項の規定に基づき、本町の産業振興促進計画を平成27年（計画期間：平成27年度～32年度）に策定したところ、同計画の期限が到来することに伴い、新たに計画を作成するものです。

### ◆目指すべき地域像

人口動態における自然動態は年々減少に転じており、社会動態についても平成30年には減少に転じ、今後も減少し続ける可能性が有ります。また、生産年齢人口割合も年々減少しており、町内経済を維持する労働力の確保が急務となっています。そのことから、町内の雇用増加に伴う生産年齢人口の増加並びに社会動態の増加を図り、総人口の減少を抑制させる必要があります。

### 【目標】

業種	(既存企業) 新規設備 投資件数	新規 雇用者数	(新規企業) 新規設備 投資件数	新規 雇用者数
製造業	3	10	2	20
旅館業	1	0	1	15
農林水産物等販売業	0	0	1	10
情報サービス業等	3	5	1	10
その他	0	0	1	5

### 【達成状況】（平成30年度末時点）

業種	(既存企業) 新規設備 投資件数	新規 雇用者数	(新規企業) 新規設備 投資件数	新規 雇用者数
製造業	0	0	1	255
旅館業	0	0	1	24
農林水産物等販売業	1	5	0	0
情報サービス業等	0	0	0	0
その他	0	0	1	400

(※参考／半島税制活用実績等)

#### 【成果及び課題の所見】

- ・北海道新幹線開業や、町内宿泊施設の新規立地等により、特定業種ではなく、均一的な業種の誘致件数増加となった。
- ・当税制の周知が不足し、地域の事業者の設備投資の際の利用に結びつかなかった可能性がある。

#### 【成果及び課題を踏まえた対応方針】

- ・周知の強化を図り、既存企業の新規設備投資を増加させ、雇用者増の促進に繋げる
- ・企業誘致活動や、町補助金等相談の際、町補助金と当税制の併用案内を行い、効果的な企業誘致並びに設備投資の促進を図る。

## 2. 計画対象とする地区

本計画の対象とする地区は、七飯町全域とします。

## 3. 計画期間

計画期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までとします。

但し、渡島地域半島振興計画の見直しが行われた場合など、必要に応じて計画変更を行うこととします。

## 4. 対象地区の産業の振興の基本的方針

### 七飯町の産業の現状及び課題

#### 【交通】

七飯町の交通は、国道5号は、慢性的な飽和状態にありましたが、平成13年3月に函館新道が全線開通し、函館市から七飯町中心部まで車で約10分と結ばれています。北海道縦貫自動車道についても平成24年11月10日に大沼公園ICまで供用開始となり交通アクセスの向上が図られています。

また、隣接する市町へは国道5号に接続している道道（大野大中山線、七飯大野線、上磯峠下線、新函館北斗停車場七飯線、大沼公園線、大沼公園鹿部線）が整備されており、平成28年3月に開業した北海道新幹線新函館北斗駅から国道5号に接続する道道新函館北斗停車場七飯線は開業に合わせ整備が行われました。鉄道のJR函館本線は、国道5号に並行するように走っており町内には8駅あります。観光地大沼国定公園の玄関口である大沼公園までは特急で函館駅から20分、札幌駅から3時間10分の所要時間です。また、北海道新幹線開業に伴い、新函館北斗駅隣接地である七飯町内の総合車両基地では現在400名程度が働いておりますが、今後の札幌延伸を契機に、関連企業の進出も含め更なる町内雇用拡大が期待されています。

空路は、函館空港を利用することになりますが、函館・東京間のダブルトラッキング運行をはじめ、札幌（新千歳・丘珠）、大阪（伊丹）、名古屋（中部）の全国主要4都市間で運行され利便性が増しています。函館・東京間の所要時間は1時間20分であり、函館空港から大沼公園までのバス直通便が運行されています。

今後、北海道縦貫自動車道七飯IC（仮称）～大沼IC（仮称）の整備により、既存道路である国道5号の通行量減少が予想されることから、特に観光分野における人の呼び込みが課題となっています。

#### 【農業（農林水産物等販売業を含む）】

当町は昭和53年に道内では初めて（全国2番目）真空予冷庫を導入し、道内外に向けての野菜等を移出できる早出し産地として位置づけられており、また平成31年には施設の老朽化に伴い、施設整備を実施し、新しく新野菜広域流通施設（七飯町集出荷予冷施設）として稼働し、鮮度の高い青果物を全国へ向け出荷しています。

しかしながら、近年の当町農業の中心は、水田をはじめ人参・長ねぎ等の野菜、りんご等の果樹、カーネーションを主軸とする花き栽培、酪農、畜産と多岐に渡って盛んに行われていますが、生産物によっては出荷数が年々減少に転じている品目もあり、その原因として担い手不足や労働力減少等が考えられ、当町農業の課題となっています。

#### 【観光（旅館業を含む）】

観光は、秀峰駒ヶ岳をはじめ大沼・小沼・じゅんさい沼を有する風光明媚な「大沼国立公園」を中心に、仁山高原、横津岳、赤松並木等の自然環境に恵まれています。また、リゾート地としての資質も備えており、ホテル・ペンション・民宿等の宿泊施設、ゴルフ場・スキー場・サイクリングロード等の野外運動施設が民間業者の手により随時整備されています。平成30年には「道の駅なないろ・ななえ」が開業し、年間来場者数が100万人を達成するなど、今後町内の新たな観光拠点として町内全体への経済活性の波及効果が期待されています。

現在、観光客入込数は、昭和60年度以降増加を続け、平成3年度は最高の297万人を記録しましたが、平成4年度以降景気停滞の中、減少傾向にあります。現在、宿泊客の割合が約5.8%と低いため、今後は通過型観光・一般型観光から滞在型観光への移行が課題となっています。

#### 【商業】

七飯町は、大沼地区の観光商店街を除いて商店街形成された地区がなく、食料品等を中心に経営規模の小さい個人商店が大半を占めている状況にあります。

今後は、大型店・チェーン店等の進出により、同一生活圏である函館市・北斗市へ購買力が流出しており、近隣消費者も含め地域での集客可能な商業振興が課題となっています。

#### 【工業（製造業を含む）】

七飯町は、これまでも函館圏でテクノポリス函館開発計画の推進など地域間の連携・協力について多くの実績を残してきており、今後も北海道新幹線の開業を契機とし地域の特色や優位性を生かした産業の活性化を図っていくため、先進技術産業を中心に積極的な企業誘致を展開しています。

また、高等教育機関や学術・試験研究機関の知的資源を各種産業分野に展開して産業活

性化などを旨す産学連携が活発に行われています。

現在、少子高齢化に伴う人口減少により、労働力減少が課題となっているため、今後、特に製造業においてはオートメーション化、機械化等の普及が課題となっています。

#### 【情報サービス業等】

七飯町は、これまで情報産業分野においては、目立った進出はないものの、電気通信事業者や都市型 CATV 事業者など民間主導により整備が進んでいます。また、当町の東側の丘陵部は、N 値が非常に強固な地盤であり情報産業は有望分野と言えます。

地方における人材確保が急務である中、今後当町においても人材誘致や企業誘致を勧めるうえで、サテライトオフィスの開設やテレワーク等の推進を図っていく必要があります。

#### 【企業誘致の状況】

近年は、一般機械器具製造業や良質な水を求めて飲料・食料製造業も進出してきており、地元産品を利用した製品開発など付加価値向上を目指した取り組みも進められています。

また、平成 18 年度に造成した峠下流通関連団地では、道南（函館圏：函館市・北斗市・七飯町）の交通結節点という地域性の立地条件を生かし、現在は全ての土地を売却し、現在 5 社の企業が立地するなど成果がみえています。

## 5. 産業の振興の対象とする事業が属する業種

- (1) 製造業
- (2) 旅館業
- (3) 農林水産物等販売業
- (4) 情報サービス業等
- (5) その他七飯町企業立地促進条例に定める業種

## 6. 事業の振興のために推進しようとする取組・関係団体等との役割分担

七飯町の産業を振興するため、製造業、観光（旅館業を含む）、農林水産業（農林水産物等販売業を含む）、情報通信業（情報サービス業等を含む）及び各主体が連携して実施する取組みは以下のとおりとします。

### ・製造業

#### (1) 中小企業の経営支援

町内中小企業へ向けた融資制度・補助制度を実施し、経営の安定化を図る。

#### (2) 創業支援

創業相談を受け付け、経営者の育成を図る。

### ・観光（旅館業を含む）

#### (1) 町内周遊ルートの醸成

町内における観光資源を洗い出し、テーマ別に既存の周遊ルートを醸成する。

### ・農林水産業（農林水産物等販売業を含む）

#### (1) 農林水産流通基盤の整備事業

衛生管理の強化など付加価値向上を目的とした農林水産施設整備を行う。

#### (2) 農林水産物の販路拡大事業

地元農林水産物を中心に町内外へ販促活動を行い、ブランド化を推進することにより付加価値向上を図る。

### ・情報通信業（情報サービス業等を含む）

#### (1) 企業立地促進事業

企業立地等に向けた町独自の補助制度を実施し、企業の誘致促進を図る。

### ・北海道

#### (2) 租税特別措置の活用促進

#### (3) 設備投資・雇用促進・産業育成のための補助金等

#### (4) 地域外企業誘致のための取組

#### (5) 産業振興のための人材育成

### ・七飯町

#### (1) 庁舎内への PR チラシ設置等による税特別措置の活用促進

#### (2) 地方税の不均一課税

#### (3) 国及び北海道と連携したインフラ整備の促進

#### (4) 立地・設備投資・雇用促進のための補助金

#### (5) 地域外企業誘致のための取組

#### (6) 産業振興のための人材育成

#### (7) 融資制度の斡旋

#### (7) 各機関と連携した相談体制の強化

### ・七飯町商工会

- (1) 経営者研修等による人材育成の実施、経営改善指導、異業種交流の促進等
- (2) 税制 PR チラシの設置
- (3) 各機関と連携した相談体制の強化

- ・ 一般社団法人 七飯大沼国際観光コンベンション協会

- (1) PR 活動の強化
- (2) 旅館業連携の促進
- (3) 観光プランの作成検討等
- (4) 各機関と連携した相談体制の強化

- ・ 農業協同組合

- (1) 消費者・加工企業が求める各種品目を生産者への情報提供及び指導強化
- (2) 各機関と連携した相談体制の強化

## 7. 計画の目標

道南の交通結節点という地域性の立地条件を生かし、引続き企業誘致を推進し、併せて企業誘致による雇用拡大と地域活性化を図るとします。

### 【今後5年間の目標】

業 種	(既存企業) 新規設備 投資件数	新規 雇用者数	(新規企業) 新規設備 投資件数	新規 雇用者数
製造業	3	10	2	20
旅館業	1	0	1	15
農林水産物等販売業	0	0	1	10
情報サービス業	3	5	1	10
その他	0	0	1	5

事業者向け周知の取組として、町ホームページ及び年に1回町広報誌へ掲載、関係機関から事業者への周知依頼、説明会等の開催を年1回以上実施します。

## 8. 評価に関する事項

本計画記載の施策等に対する効果検証については、毎年度実績件数を調査し、その結果に基づき、次年度の施策等に反映します。

## 9. 参考データ等

### 【位置・地勢】

位 置		広 ぼう	
東 経	北 緯	東 西	南 北
140°41'39"	41°53'43"	23.2 km	20.2 km
七飯町本町6丁目1番1号		東 東経 140°47'34"	南 北緯 41°49'01"
標高 78 m		西 東経 140°34'52"	北 北緯 42°04'18"

### 【気候】

年次	平均気温	日照時間(年)	降水量(年)	積雪(最深)
H26	9.4℃	2,006.1h	1,078.5mm	57cm
H27	10.3℃	1,870.9h	1,143.0mm	33cm
H28	9.7℃	1,827.1h	1,244.0mm	58cm
H29	9.4℃	1,816.8h	1,291.0mm	27cm
H30	9.8℃	1,715.4h	1,578.0mm	82cm

(資料/函館海洋気象台)



【総人口】

年次	世帯数	人口総数	内 訳		伸び率
			男	女	
H 7	9,017	27,040	12,633	14,407	12.8%
H12	9,930	28,354	13,132	15,222	4.9%
H17	10,369	28,424	13,031	15,393	0.2%
H22	10,891	28,463	12,977	15,486	1.4%
H27	11,141	28,120	12,820	15,300	△1.2%

(資料／国勢調査)

H31.3 月末 現在	世帯数	人口総数	内 訳		前年同期 伸び率
			男	女	
	13,708	28,117	13,006	15,111	0.01%

(参考／住民基本台帳より人口等)

【人口動態】

年次	自然動態			社会動態			純増減数
	出生数	死亡数	増減数	社会増	社会減	増減数	
H26	163	339	△176	1,173	1,063	110	△66
H27	170	377	△207	1,119	1,099	20	△187
H28	156	345	△189	1,288	1,042	246	57
H29	185	356	△171	1,152	1,068	84	△87
H30	174	406	△232	1,038	1,154	△116	△348

(資料／住民基本台帳各年 3 月末)

【年齢別人口構成比】

年次	老年人口		生産年齢人口		年少人口	
	65 歳以上	割合	15～64 歳	割合	0～14 歳	割合
H 7	4,728	17.5%	17,704	65.5%	4,608	17.0%
H12	5,964	21.0%	18,084	63.8%	4,306	15.2%
H17	6,925	24.4%	17,524	61.6%	3,975	14.0%
H22	7,922	27.8%	16,924	59.5%	3,607	12.7%
H27	9,058	32.2%	15,672	55.8%	3,384	12.0%

(資料／国勢調査)

H31.3 月末 現在	総人口	老年人口		生産年齢人口		年少人口	
	28,117	9,469	33.7%	15,368	54.7%	3,280	11.6%

(参考／住民基本台帳より人口等)

【農産物出荷実績】

(単位：百俵・百t・百万本・頭・百万円)

年次	米	大根	人参	しいたけ	白かぶ	長ねぎ	果樹	花卉	乳牛	肉牛
H26	223	30	56	3.5	5.8	36	2.5	17	60	225
	243	260	606	217	81	1010	47	1000	19	103
H27	219	35	62	3.5	7.3	40	2.6	16	47	225
	223	341	799	236	94	1366	49	1019	16	118
H28	217	43	55	3.0	6.2	37	1.7	15	47	200
	249	410	758	227	106	1433	39	902	22	139
H29	206	34	54	3.2	6.1	40	2.0	15	67	202
	294	425	548	243	97	1474	38	915	37	124
H30	156	46	40	3.0	4.9	37	1.6	14	48	267
	211	436	522	227	75	1590	37	914	23	130

(資料／JA取扱実績数値)

【観光入込客数】

(単位：人・%)

年度	総数	道内	道外	日帰り	宿泊	前年比
H26	1,954,312	564,181	1,390,131	1,859,039	95,273	△1.3
H27	1,921,707	535,692	1,386,015	1,827,701	94,006	△1.7
H28	1,998,260	540,980	1,457,280	1,875,963	122,297	4.0
H29	1,838,173	534,045	1,304,128	1,717,961	120,212	△8
H30	2,331,421	1,125,655	1,205,766	2,206,326	125,095	26.8

(資料／七飯町経済部商工観光課)

【商業関係実績】

(単位：店・人・万円)

		H14	H16	H19	H28
総数	商店数	210	203	195	154
	従業者数	1,436	1,621	1,213	1104
	商品販売額	2,688,615	2,319,092	2,280,473	1,930,800
	1店当たり	12,803	11,424	11,695	12,500
	従業者1人当たり	1,872	1,431	1,880	1,700
卸売業	商店数	38	36	36	29
	従業者数	313	232	229	131
	商品販売額	1,016,038	759,021	840,626	569,100
	1店当たり	26,738	21,084	23,351	19,600
	従業者1人当たり	3,246	3,272	3,671	4,300
業小売	商店数	172	167	159	125
	従業者数	1,123	1,389	984	973

	商品販売額	1,672,577	1,560,071	1,439,847	1,361,700
	1店当たり	9,724	9,342	9,056	10,900
	従業者1人当たり	1,489	1,123	1,463	1,400

(資料／商業統計調査)

【工業関係実績】

年次	事業所数	従業者数	出荷額	前年比	備考
H23	24	1,114	1,867,125	△35.9	4人以上の事業所
H24	27	990	3,800,162	203	4人以上の事業所
H25	30	1,076	2,096,519	△44.8	4人以上の事業所
H26	30	950	1,768,641	△15.6	4人以上の事業所

(資料／工業統計調査)